平成 24 年 度

八代市議会総務委員会記録

審 査 ・ 調 査 案 件

1. 7月臨時会付託案件 …………… 1

平成 24 年 7 月 25 日（水曜日）

総務委員会会議録

平成24年7月25日 水曜日

午前10時58分開議

午前11時36分閉議（実時間 38分）

○本日の会議に付した案件

1. 議案第83号・平成24年度八代市一般会計補正予算・第3号（関係分）
1. 議案第84号・専決処分の報告及びその承認について

○本日の会議に出席した者

委員長 亀田 英雄 君
委員 小 菌 純 一 君
委員 笹 本 サエ子 君
委員 鈴木田 幸 一 君
委員 友 枝 和 明 君
委員 野 崎 伸 也 君
委員 藤 井 次 男 君

※欠席委員 成 松 由紀夫 君
太江田 茂 君

○委員外議員出席者中発言の許可を得た者 君

○説明員等委員（議）員外出席者

総務部長 木 本 博 明 君
総務部次長 山 田 忍 君

○記録担当書記 竹 岡 雅 治 君

（午前10時58分 開会）

○委員長（亀田英雄君） 皆さんおはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）

それでは、定足数に達しておりますので、た

だいまから総務委員会を開会いたします。

本日の委員会に付します案件は、さきに配付してあります付託表のとおりであります。

○議案第83号・平成24年度八代市一般会計補正予算・第3号（関係分）

○委員長（亀田英雄君） それでは、予算議案の審査に入ります。

議案第83号・平成24年度八代市一般会計補正予算・第3号中、当委員会関係分を議題とし、説明を求めます。

それでは、歳入について総務部から説明願います。

○総務部長（木本博明君） 委員長。

○委員長（亀田英雄君） はい、木本総務部長。

○総務部長（木本博明君） はい。改めましておはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）

総務委員会に付託されました議案第83号の平成24年度八代市の一般会計補正予算・第3号の歳入につきまして、それからまた、議案第84号の専決処分の報告及びその承認についての歳入及び歳出の総務委員会関係分につきまして、総務部の山田次長が説明いたしますので、どうぞよろしく願いいたします。

○委員長（亀田英雄君） はい、ありがとうございました。

はい、山田総務部次長。

○総務部次長（山田 忍君） おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）総務部次長の山田でございます。よろしく願います。それでは、座らせていただきまして説明いたします。

○委員長（亀田英雄君） どうぞ。

○総務部次長（山田 忍君） それでは、別冊になっております議案第83号です。平成24年度八代市一般会計補正予算・第3号をお願い

いたします。総務委員会付託分につきまして説明をいたします。

まず、1ページをお願いします。

歳入歳出予算の補正でございますが、第1条で歳入歳出それぞれ2億8090万円を追加し、補正後の総額を歳入歳出それぞれ521億6680万円といたしております。

続きまして、歳入を説明いたします。

6ページです。6ページをお願いします。

2、歳入をお願いします。

款10、項1、目1、節1・地方交付税で5417万7000円を計上しておりますが、これが今回の補正予算の一般財源でございます。

次に、款15・県支出金、項2・県補助金、目4・農林水産業費県補助金、節1・農業費補助金で2億2572万3000円を計上しておりますが、八代地域農業協同組合の低コスト耐候性ハウス14棟の導入に対します強い農業づくり交付金事業補助金2億1557万7000円と、八代地域農業協同組合の循環扇施設や自動内張りカーテン施設の導入などに対します、くまもと稼げる園芸産地育成対策事業補助金1014万6000円でございます。

また、同項、同目、節3です。水産業費補助金で100万円を計上しておりますが、漁業生産活動の向上と水産資源の回復、増大を目的に交付されます水産資源回復・基盤整備交付金でございます。今回はアサリの成育を阻害するホトトギスガイのマットを除去するための水流ポンプを購入することとしております。

以上、平成24年度一般会計補正予算・第3号の歳入の説明といたしますが、当委員会関係の歳出はございませんので、これで総務委員会付託分の説明といたします。

御審議、よろしくお願ひいたします。

○委員長（亀田英雄君） はい。以上の部分について質疑を行います。質疑ありませんか。

○委員（野崎伸也君） はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、野崎委員。

○委員（野崎伸也君） はい。歳入のところをですね、今、御説明いただいたとこですけれども、どちらともですね、前回だろうか前々回だろうかちゅうようなところでも何回も出てきとるような補助金の関係なんですけれども、これがいつまで続くんですか。

○総務部次長（山田 忍君） はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、山田次長。

○総務部次長（山田 忍君） 今回、前回もあったものもございますが、県の、1つには上のほうの強い農業づくり交付金事業というのは、これは国の財源を伴った事業ですが、下のくまもと稼げる園芸、こちらは県の事業ということになりますけれども、いずれにしても、要望、地元からの——県の予算、国とか県の予算が確定しました後に地元からの要望をとるといって、その追加があるということで、通常ですと時期もあるんですが——、済みません、そういったことで追加の要望とか、そういうのをとって、何回かとりま関係で、こういった形で追加というようなことで今回の補正があつてんですが、この後の追加の補正につきまして、ちょっと私も状況を把握しておりませんので、9月以降にですね、その分が出るかというのはちょっと今のところ把握はしておりません。

○委員長（亀田英雄君） はい、野崎委員。

○委員（野崎伸也君） はい、わかりました。よろしいです。

○委員長（亀田英雄君） はい。

○委員（小藺純一君） おらわからぬ。おらわからぬ。はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、小藺委員。

○委員（小藺純一君） 補助金ですから、国が方針を決定して出てきた金、この場合は県費の助成ですから、県が事業項目を、八代がこれを受けるかっていう話が多分あってからの話だろ

うと思うんですが。それは、逆に言うと、この臨時議会がなかった場合は9月議会にしか、これは出てこぬとじゃなかですか。だから9月議会に間に合うやつの事業を今ここに出してきてということにはどうですか。そのあたりの反応はどうですか。今すべき事業なのかどうか。あえて一般的な一般的な事業を特別に行われるこの臨時議会でもって予算化して、今出して事業化するという自身はどういう意味合いなのかを教えてください。

○委員長（亀田英雄君） いいですか。

○総務部次長（山田 忍君） はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、山田次長。

○総務部次長（山田 忍君） 今回、上げておきますのは、まず強い農業づくり交付金事業、それから、くまもと稼げる園芸の関連もそうなんです、1つにはトマトの関係での整備のため、そしてその整備のための補助金ということでございまして、そのトマトの植えつけの時期というのがありまして、それが9月までには終わらなければならない、植えつけですか、そういうのが終わらなきゃならないというようなところで、9月の補正をいたしました際には、植えつけの時期にですね、後になってしまうということで、その作業のできないということになりますので、今回どうしても、今回、補正を臨時議会をお願いをして、その植えつけに間に合わせるというところでの対応ということです。

それから、水産業の部分につきましても、これも時期的に作業を、先ほど申したんですが、ホトトギスガイの除去という作業をするということになります、その作業が9月補正後にポンプを買ってそういった除去作業をしますと、今度はノリですか、ノリの養殖がまた秋口から始まるということで、こちらにつきましても、その作業の阻害になるということから、今回の臨時議会をお願いをしたということでございます。

○委員（小菌純一君） はい。

○委員長（亀田英雄君） ようございますか。はい、小菌委員。

○委員（小菌純一君） 違うとたい。そやんじゃなかった。そんなら当初予算に出しゃいいじゃない。問題のある予算でもないし。そうじゃなくて、結局、これが今おっしゃるトマト、臨時議会に対応しなければならないというテーマだったら、農業委員の選出なんていうのをしゃにむに期限があるやつをしなくても、これを7月議会で、毎年こういうことやんなきゃいかぬぞ。来年は臨時議会を開いて、またこういうやつの、強い農業づくりの交付金事業についてのいろんなやつをやりませんか。俺は違うと思うとたいな。

結局、当初予算に間に合わなかったものを県が小出しにして出してきたのをどうにか市が引き取って、そしてこの予算をつける。この臨時議会がなければ、9月補正までこれを待たはざですよ。そやないと方法ないもん。な。だけんそのあたりはせっかくのチャンスだから、この臨時議会に合わせて、できればトマトに間に合うからという話に持っていくなれば、ここを出してきた価値があるわけたい。今んごた説明すんならばたい、しゃんもつでん、こつで臨時議会開かぬばんごた話を言うわけたい。そうじゃない。おらそやんと思うとたいな。どやんだらうか、そのあたりは。

基本的には臨時議会がたまたま7月25日に行われたから、間に合うような予算措置がとれるから、これを絶対この機を逃さずにここで予算上げてもらおうというのは意味はわかっつた。それならわかるという言い方しとつた。けど、ひとつそういうふうなね、そういうふうな説明しないと、なら何のために当初予算になかったつかいって、何で9月補正用に、こぎゃん時期が違ふ外れたやつを出してきて、逆に言うと県費の助成を2億もたい、こぎゃんとに使

わにゃいかぬとかいって話になってくる。そのあたりはやっぱりきちんと見てとってほしいと思いましたので一言申し上げました。

以上です。もうよかな。な。

○委員長（亀田英雄君） ちょっと待ってください。山田次長、今の点についてコメントがあれば。総務部長でもいいですよ。

○総務部長（木本博明君） はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、部長。

○総務部長（木本博明君） はい。今、小菌議員さんがおっしゃられたとおりでございます。たまたま臨時議会ということがありましたので、今回のせれば9月の時期を待たずに早目に手を打てるということ。もし、9月に出しとれば1年おくれの対応になってしまうからですね。そういうことでございます。

○委員長（亀田英雄君） それでよかっか。
（笑声）

○総務部長（木本博明君） いや、先ほど申し上げました……。はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、よかですよ。

○総務部長（木本博明君） アサリガイにしる、農業関係の施設にしるですね、台風前の時期とか、ノリの養殖に害を及ぼさないようにできるだけ早い時期に（「ですよね」と呼ぶ者あり）実施するというこで。

○委員（小菌純一君） はい。そぎゃん言うなら。はい。

○委員長（亀田英雄君） 小菌委員。

○委員（小菌純一君） そういうことの言い方だったら、いつも臨時議会開かにゃいかぬばい。議会と議会の間、年間の3月、6月、9月、12月の間には必ず臨時議会開いて、今せぬばあからぬ事業がいっぱい出てくるばい。そこはちゃんとわかっとかぬばいかぬばい。あたたちが一番困つとだから。たまたま総務の枠の中の歳入のあれが、よそから金をいただくから、ありがたくもらってありがたく事業するた

めの収入があるわけだから、私たちは助かっりますという前提の中には、そんならそういうことが県からたい、10月に言うてきたら11月に臨時議会開かにゃいかぬ。な。みんなそら12月に間に合うたい、何か餌やりが12月に間に合うためとか、みんなそぎゃん理由になってしまう。ずっと臨時議会をですね。これは予算措置からすると必ず起こってくる話だから、そこはです、注意して言わぬといかぬとじゃなかでしようかね。だから、3、6、9、12の定例会にどういうふうにちゃんと合わせて持っていくかということを最初から考えにゃいかぬということを私はやっぱりしっかり執行部はですたい、見とってほしいなと思うただけの話です。優しく言えば、見ただけの話。な。

○総務部長（木本博明君） はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、木本部長。

○総務部長（木本博明君） はい。ただいまの件、ありがたく聞かせていただきまして、今後、検討させていただきます。ありがとうございました。

○委員（小菌純一君） はい。

○委員長（亀田英雄君） 友枝委員。

○委員（友枝和明君） はい。このトマト、くまもと稼げる園芸産地育成対策、これはちょっと中身っていうか、どういうことに使われるのか、例えば……

○委員長（亀田英雄君） 友枝委員。済みません、歳入ばかりですたい、総務委員会は。

○委員（友枝和明君） ああ、そうか。はい、いいです、いいです。

○委員長（亀田英雄君） 今、経済企業で話をしよります。

○委員（友枝和明君） はい、わかりました。

○委員（野崎伸也君） 質問。

○委員長（亀田英雄君） はい、野崎委員。

○委員（野崎伸也君） はい、済みません。今んとこですけれども、さっき聞いたんですけ

っていただければなというふうに思います。

で、もういっちょなんですけど、水産資源のやつはですよ、今回またいろいろ結構ですね、豪雨でやられとるちゅうともあるとばってんが、何かこうほかの農業関係に比べればですたい、水産の関係は少なかなというところがあつてですよ。いつも思うとばってん。アサリの関係もそやんばってんがですたい。やっぱそこら辺のところは、要望とか何かできぬとだろわかちゅうふう思うとばってんですね、どやんですか。割合的にえらい少な金額でしかいつも出てこぬもんだっけんですたい。

○総務部次長（山田 忍君） はい。

○委員長（亀田英雄君） はい、山田次長。

○総務部次長（山田 忍君） はい。この水産資源回復・基盤整備交付金、こちらのほうも県の事業ということで、どうしても県の事業費のほうに国に比べますと小さいもんですから、そういうことで事業費そのものが小さいのかなという感じは私どもも持っております。

○委員長（亀田英雄君） はい、野崎委員。

○委員（野崎伸也君） はい。わかりました。総務ちゅうか、各担当のところがあつて思うとばってんがですよ、そこら辺とも連携しながらですたい、やっぱ水産は結構力入れていかさぬばいかぬと思うけんがですね、今後。そやんとも含めて、県への要望なり何なりもですな、考えてからちょっとやっていたいただければなと思います。

要望ですね。（委員小菌純一君「よかばい」と呼ぶ）

○委員（笹本サエ子君） ちょっと、はい。

○委員長（亀田英雄君） はい。

○委員（笹本サエ子君） ちょっと基本的なことなんですけど、強い農業づくり交付金事業ということで、今回トマトということになっておりますが、県がそういう指定のね、もう指定してくるんでしょうか。それとも八代市で、八代市が

今回はトマトの云々かんぬんということで決めるんでしょうか。

○総務部次長（山田 忍君） はい。

○委員長（亀田英雄君） 山田次長。

○総務部次長（山田 忍君） 補助の申請の流れとしましては、八代市のほうで関係のですね、農業者の団体のほうに照会をかける、照会といひますか、申請はないでしょうかという照会をかけたのをまとめて、それを県のほうに出して。（委員笹本サエ子君「出して」と呼ぶ）はい。で、そうやって国のほうから県に来てる配分の中で調整をしていって、そこでその補助金の枠の中に入る分を認定をしていくと。その時期が今回は遅くなってるということです。

○委員（笹本サエ子君） わかりました。あと1点です。

○委員長（亀田英雄君） はい、どうぞ。

○委員（笹本サエ子君） これまでもね、何度か疑問も感じたことなんですけど、大体事業主体というのが、八代地域農業協同組合ということに指定してあるわけですね。そうすると、農家の皆さんで、組合に入っていない熱心な農家の方もいらっしゃる。そういうところは除外されるんだらうと。そういうところも含めてね、何か対応はできないもんだらうかといつも思うんですけど、その点はどうでしょうか。

○委員長（亀田英雄君） 山田次長。

○総務部次長（山田 忍君） はい。いわゆるその事業をやる主体というようなことでのお尋ねかと思いますが、その事業につきましてはいろんな団体があるみたいで、私どもが把握するのは農協以外でもですね、農事組合法人ですか、そういった法人、それから農業者のほうで組織する農業者の団体ということで、若干、国のほうの事業と県のほうの事業ですから、何戸以上とかですね、いわゆる農家の1戸ではだめで、複数の農家で共同してやるというような事業であればですね、認定をされるというような

ことで、その認定の基準の戸数というのは違うかと思うんですが、そういったことで農業者が組織をされる団体であればですね、該当するんじゃないだろうかなというふうには考えているんですが。一応それとおぼしきところにはずっと何か照会のほうは農政サイドから、市内のですね、ところに照会をかけてるといようなところは聞いております。

○委員長（亀田英雄君） 笹本委員。

○委員（笹本サエ子君） わかりました。一応要望なんですけどね、やっぱりそういういろんなね、団体を組んでやってるところ、個人、ありますので、できたらですね、相談に見えたらですね、できるだけそういうところもですね、何ていうかな、対応されるようにですね、考えていただきたいというのがあります。例えば、灯油の引き上げのときもそういうのがね、ありましたから、ぜひ八代市としてどうするかということですね。ただ、県の補助金が農協、組合を対象にしてきたからというだけじゃなくてですね、ほかの団体にも何か利用できないかという策をですね、検討していただきたいというふうに思います。

○委員長（亀田英雄君） 意見もですが、質疑の時間ですので、質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（亀田英雄君） はい。以上で質疑を終了します。

意見がありましたら、お願いします。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（亀田英雄君） きょうは副委員長がおりませんので、私のほうから1つ。

先ほどから聞いとりますと、行政の手続とかですたい、議会の開催手続などでですよ、補助金がもらえないとか、補助金の受給者にですよ、そういうことが不利益にならないようにですたい、補助金を待ってる人がおっとだけんが、行政の手続きで1年おけると、そげんこ

とはあり得ぬ話ですけん、そげんことのなかようにですね、気をつけていただきたいというふうに思います。

ほかにございませんか。

○委員（藤井次男君） 意見ですか。

○委員長（亀田英雄君） はい、意見です。

○委員（藤井次男君） 意見でよかですか。

○委員長（亀田英雄君） はい、藤井議員。

○委員（藤井次男君） 私も漁業組合員ばってん、今、水産あたりが非常に補助金なんか、アサリ、あるいはガザミ、あるいはいろいろの面で補助しよらさばってん、私どんがですたい、海行くところがなかつですたいな。これは意見ですけん。そうすつと、海行こうですつとしゃがな、ここは漁業、いや何ちゅうか、養殖場だいけん入るなど。とにかく海に遊び行くところがなかわけですたい。で、どやんして海に親しめばよかか。例えば、子供、学校あたりから潮干狩りへ連れていこうしたってな、潮干狩りする場所がない。これから先は養殖場ですばいと、行っちゃいかぬとばいてるという話になるけん、県あたりにですな、どこどこがもうちょっと庶民的に海に親しむためには、そういう遊ぶ場所を、何ちゅうか、設定してもらわれぬどかって県に尋ねてみてくださいらんですか。こら意見ですけん。

○委員長（亀田英雄君） はい。ええと……

○委員（藤井次男君） どこまでが漁業者の海なのか。例えばですよ、アサリなんか取りいきます。取りにいくとしゃがな、ここは養殖場だいけん、あつどもアサリは取んなすなど。なら、あんたがえん場所はどこまでか、あんたがえん場所はつていうような、何ちゅうかいた、意見になってくるわけですたいな。もうちょっと遊ぶ場所を県に尋ねてみてもらうわけにはいかぬどかっていう意見です。

○委員長（亀田英雄君） はい。鈴木田議員。

○委員（鈴木田幸一君） はい。これしこ社会

的に経済が疲弊してきた場合は、補助金をいた
だきながら市の運営をするというのは非常に大
事なことだと私は感じるわけなんです。で、
そのために何が必要かっていうならば、結局職
員の方々のいわゆる補助制度がこういった補助
制度があるっていうのをいっぱい知ってもら
うことによって、それを国とか県とかに連絡す
ることが一番大事なことじゃないかなって思う
んです。一般にはそういう方法も知らないし、
そういう内容も知らないというのがあると思
うんです。

だからできるだけ、さっき言われたように、
トマトは例えば、6月とか7月とか8月に植
えつけせぬばならぬってするから、この場合
は今回の補正予算でちょうど間に合ったって。
しかし、トマトばかりじゃないと思うんです
よね。その時期時期によって、植えつけとか、
あるいは収穫とかによってできる補助金の
制度があるならば、そのことを各担当職員
の方はしっかり財政のほうと連絡ば密にし
ながらしていきながら、この補正っていう
のも含めて非常にスムーズな補正、ある
いは一般予算に対する提案っていうのが
できると思うんですよね。

だから、くれぐれもですね、これから先
必要なのは、やはりそういった職員の方
々の前向きな補助金をもらうっていう、
いただく方法を知るといのは非常に大
事なことというのを自覚してもらいなが
ら、作業、仕事に頑張ってもらいた
いなってというのが私の意見です。

以上です。

○委員長（亀田英雄君） ほかにありませ
んか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（亀田英雄君） はい。なければ、
これより採決します。

議案第83号・平成24年度八代市一般会計
補正予算・第3号中、当委員会関係分につ
いて原案のとおり決するに賛成の方の挙
手を求めま

す。

（賛成者 挙手）

○委員長（亀田英雄君） はい。挙手全
員と認め、本案は原案のとおり可決され
ました。

◎議案第84号・専決処分の報告及びその承認
について

○委員長（亀田英雄君） 次に、事件議
案の審査に入ります。

議案第84号・平成24年度八代市一般
会計補正予算・第2号中、当委員会関係
分に係る専決処分の報告及びその承認
についてを議題とし、説明を求めます。

それでは、総務部から歳入及び歳出の
第10款・災害復旧費について説明願
います。山田総務部次長。

○総務部次長（山田 忍君） はい。

○委員長（亀田英雄君） 山田総務部
次長。

○総務部次長（山田 忍君） はい。引
き続き座らせていただきまして説明いた
します。

○委員長（亀田英雄君） はい、どうぞ。

○総務部次長（山田 忍君） 当総務
委員会に付託分について御説明いた
します。

それでは、議案書の1ページをお願
いします。

議案第84号です。専決処分の報告
及びその承認についてでございます。

内容は、平成24年度八代市一般
会計補正予算・第2号で、梅雨前線
により発生しました豪雨で被災しま
した施設の応急復旧を行う必要性
から、平成24年7月3日の日に、
緊急に専決処分を行ったものでござ
います。

それでは、5ページです、5ページ
をお願いします。

まず、歳入歳出予算の補正でござ
いますが、第1条で歳入歳出それぞ
れ6280万円を追加し、補正後の
総額を歳入歳出それぞれ518億
8590万円といたしております。

続きまして、歳入から説明いたします。

10 ページです。10 ページの2、歳入をお願いいたします。

款の10、項の1、目1、節1・地方交付税で6280万円を補正しておりますが、これが今回の補正予算の財源でございます。

以上が、今回補正の総額6280万円の歳入の説明でございます。

続きまして、歳出を説明いたします。

3、歳出でございますが、12ページをお願いいたします。

款10・災害復旧費、項3・その他公共施設・公用施設災害復旧費、目1・その他公共施設・公用施設災害復旧費、節11・需用費で、19万円2000円を補正しております。

これは、去る6月中旬に発生しました梅雨前線豪雨により、東陽町にあります栗林団地ののり面が崩落いたしましたので、その土砂の撤去を行ったものでございます。

以上、専決処分いたしました平成24年度八代市一般会計補正予算・第2号の総務委員会付託分の説明といたします。

御審議、よろしく申し上げます。

○委員長（亀田英雄君） はい。以上の部分について質疑を行います。

質疑ありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）いいですか。

○委員（小菌純一君） ちょっとよかですか。

○委員長（亀田英雄君） はい、小菌委員。

○委員（小菌純一君） 歳入の分のいわゆる6280万の地方交付税、簡単に地方交付税してますけども、私はこの後にも出てくるんじゃないかと思ってるもんだから、地方交付税の負担みたいなものがどんなもんだろうかと思ってですね。これは、この前の北部豪雨じゃなくてその前のやつですから、改めてまた何か坂本の崖崩れしたとか何とかかんとか話聞いてますから、その後にもまた出てくるんじゃないか

うかと思ってるんですが。それからすると、そのあたりの地方交付税の運用の仕方っていうのはどうなんでしょうか。

○委員長（亀田英雄君） 山田次長。

○総務部次長（山田 忍君） はい。今回は災害の復旧の一般財源ということで、そちらのほうにつきましては地方交付税を充てたということでございます。その充てておりますのは、今現在、こちらの補正後で174億近くのトータルの金額になっておりますけども、昨年度の平成23年度の決算の見込みが約180億円というようなことでなっておりますので、平成24年度につきましても、同規模程度の180億円程度、同規模程度ですか、見込めるのではなからうかというようなことからですね、一応上げても大丈夫というところで計上しとります。

○委員（小菌純一君） はい、それはわかりました。

○委員長（亀田英雄君） ようございますか。

○委員（小菌純一君） 続いて。

○委員長（亀田英雄君） 小菌委員。

○委員（小菌純一君） 次はどうするんですか。専決ですか。またその後のやつ。今度の集中豪雨の次の集中豪雨。

○委員長（亀田英雄君） はい、山田次長。

○総務部次長（山田 忍君） はい。今回はですね——あつ、済みません、この専決処分いたしましたのは6月の分です。6月のですね、分です。それから補正、先ほどの補正予算のほうでも上げておるんですが、それにつきましては7月の頭までの分ということで、この前の九州北部のときにつきましては、今回の臨時議会のほうに積算のほうに間に合わなかったということもございますので、近々そちらのほうも復旧を急ぐもんですから、近々専決処分という形でやりたいなというようなところで思っております。御了承いただければというふうに思います。（委員小菌純一君「はい、はい、はい。災

害はもう急いで対処してもらわぬと困るものだから、あえてこの前の話まで聞いておきました。以上です」と呼ぶ)

○委員長（亀田英雄君） いいですか。

○委員（小菌純一君） はい。異議なし。

○委員長（亀田英雄君） 以上で質疑を終了します。

意見がありましたら、お願いします。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（亀田英雄君） はい。なければ、これで採決します。

議案第84号・平成24年度八代市一般会計補正予算・第2号中、当委員会関係分に係る専決処分の報告及びその承認については承認するに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者 挙手）

○委員長（亀田英雄君） 挙手全員と認め、本案は承認されました。

以上で付託されました案件の審査を全部終了いたしました。

お疲れさまでした。

○委員長（亀田英雄君） お諮りいたします。

委員会報告書及び委員長報告の作成については委員長に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（亀田英雄君） 異議なしと認め、そのように決しました。

以上で本日の委員会の日程はすべて終了いたしました。

これをもって総務委員会を散会いたします。

（午前11時36分 閉会）

八代市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

平成24年7月25日

総務委員会

委員長